

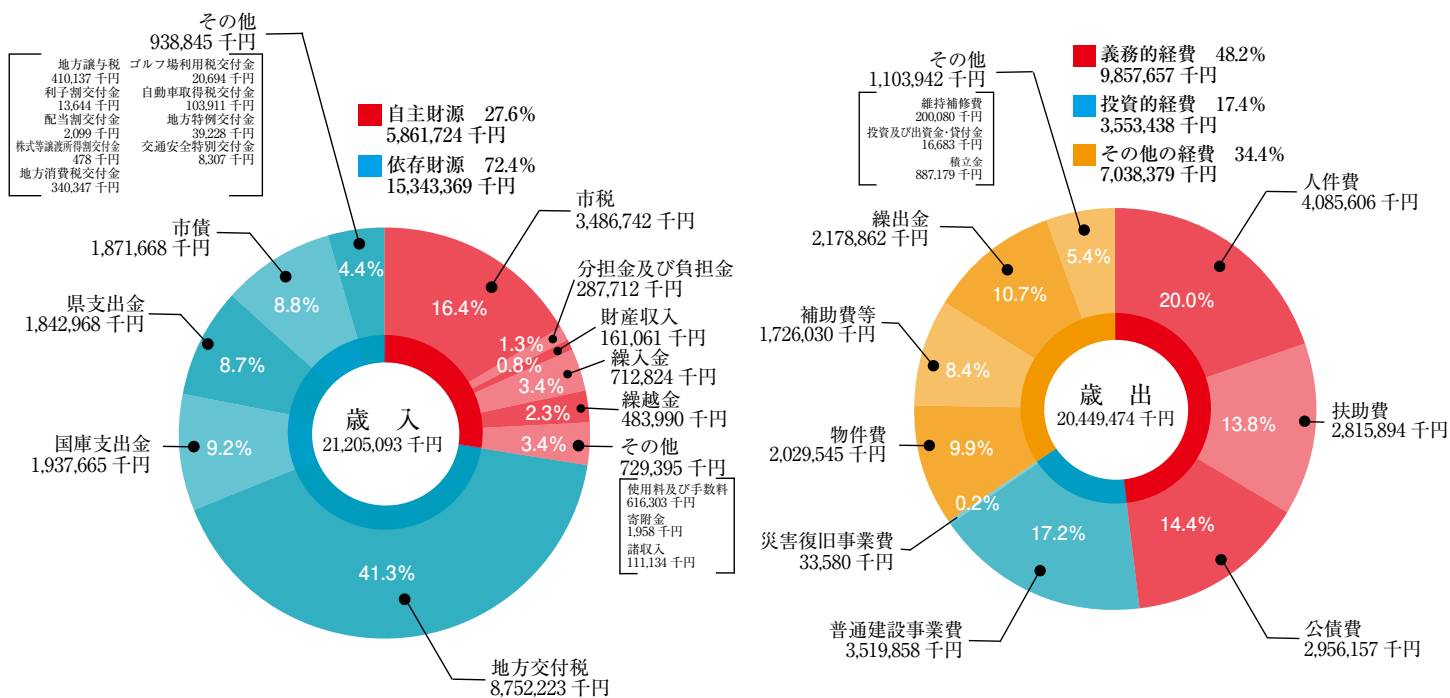
平成20年度 決算報告

合併後、南九州市として初めての通年決算となる平成20年度の一般会計決算については、次のとおりです。

歳入総額は212億509万3千円、歳出総額は204億4,947万4千円で、歳入歳出差引額は7億5,561万9千円となり、これから翌年度へ繰り越すべき財源1億1,372万7千円を差し引いた実質収支は6億4,189万2千円の黒字となりました。

歳入については、市税等の自主財源が全体の27.6%で、地方交付税等の依存財源に頼らざるを得ない状況となっています。特に、地方交付税は歳入全体の41.3%を占めています。

歳出については、人件費や扶助費、公債費の義務的経費が歳出全体の48.2%を占めており、道路や施設等の整備に充てられる投資的経費は17.4%となっています。



一般会計の市債の状況

市債は、道路改良、学校施設整備や災害復旧事業など一時的に多額の経費を要し、その事業効果が後年度に及ぶものの財源に充てるために借り入れ、後年度の市民に応分の負担を求め一定の割合で償還していく長期の借入金で、平成20年度末の現在高は221億8,695万円となっており、前年度末より6億9,581万5千円減少しています。

(単位：千円) 【参考】

区 分	平成19年度末 現 在 高	平成20年度中		平成20年度末 現 在 高	平成20年度末現在高 (円)	
		元金償還額	借入額		一人当たり	世帯当たり
市 債	22,882,765	2,567,483	1,871,668	22,186,950	543,598	1,270,876

※平成21年9月30日現在 (人口40,815人；世帯数17,458世帯)

一般会計の基金の状況

平成20年度末現在の基金残高は51億5,016万8千円で、前年度末より7億4,250万2千円増加しています。

(単位：千円) 【参考】

区 分	平成19年度末 基金残高	平成20年度末 基金残高	平成20年度末現在高 (円)	
			一人当たり	世帯当たり
財政調整基金	1,909,715	2,009,376		
減債基金	255,818	249,587		
特定目的基金	2,242,133	2,891,205		
計	4,407,666	5,150,168	126,183	295,003